

取扱説明書

保証書別添付

HITACHI
Inspire the Next

日立LED照明器具

形式

LEC-AHS1410A

LEC-AHS1210A

LEC-AHS1010A

LEC-AHS810A



このたびは、日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保存してください。

「安全上のご注意」→ P.2 をお読みいただき、正しくお使いください。

工事店様へ

この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

もくじ

●安全上のご注意	2
・ご使用上に関するお知らせ	3
●各部の名前・付属品	3
●器具の取り付けかた	4～5
●使いかた	6
●リモコンの操作	6～11
・リモコンご使用上の注意	
・乾電池の入れかた・交換のしかた	
・各部の名前と各ボタンの使いかた	
・時計の合わせかた	
・あかりセレクトボタンの使いかた	
・節電モードボタンの使いかた	
・ECOこれっきり ボタンの使いかた	
・タイマー予約のしかた	
・タイマー予約の内容確認	
および取り消しのしかた	
・留守番タイマーの使いかた	
・おやすみ30・60分タイマーの使いかた	
・リモコンホルダーの使いかた	
●チャンネルの設定	12
●壁スイッチの操作	13
●器具の取り外しかた	14
●お困りのときは	15
●仕様	15
●お手入れ	16
●保証とアフターサービス	16

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

 「警告や注意を促す」内容のものです。

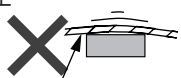
 してはいけない「禁止」内容のものです。

 実行していただく「指示」内容のものです。

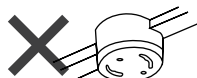
警告

 **このような場所には取り付けない**
※器具の落下によるけがの原因となります。

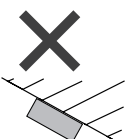
禁止



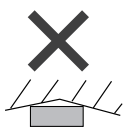
押すと簡単にたわむ補強のない天井



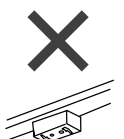
ケースウェイ取り付け形ローゼット、シーリングボディ



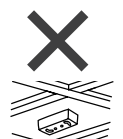
傾斜天井



舟底天井



竿縁天井



格子天井

 ●器具の改造、構成部品の交換はしない。
※火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。

※感電・故障の原因となります。

 **このような配線器具には取り付けない**
※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



欠け 割れ
破損しているもの



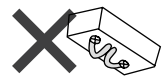
ガタつくもの



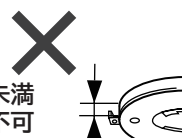
19mm未満
使用不可



角形・丸形引掛シーリングボディ



電源が露出しているもの



10mm未満
使用不可



丸形埋込引掛シーリングボディ

このような場合は、電気工事店に依頼して配線器具を交換してください。

注意

●定格電圧 交流100V以外で使用しない。

※過熱し、火災の原因となります。

●浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所（35℃以上）では使用しない。

※絶縁性能が低下し、火災、感電の原因となります。

●調光器では使用しない（100%点灯でも使用不可）。

※過熱し、火災の原因となります。

●取り付け、取り外し、お手入れの際は電源を切る。

※電源を切らないと感電の原因となります。

●中央キャップは確実に取り付ける。

※過熱時の延焼防止のためです。

●器具の真下にストーブなどを置かない。

※過熱し、火災の原因となります。

●屋外で使用しない（この器具は屋内専用です）。

※火災・感電の原因となります。

●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない。

※やけどの原因となります。

●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。

※器具の落下によるけがの原因になります。

●カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない。

※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

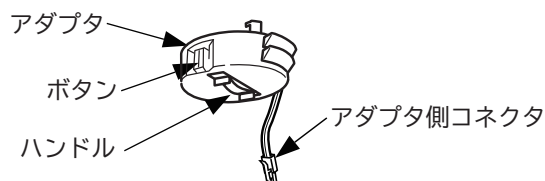
ご使用上に関するお知らせ (このようなことにもご注意を)

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電(0.2秒~2秒以内)や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごとと交換してください。
- LED素子の発光色等のバラツキなどのため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

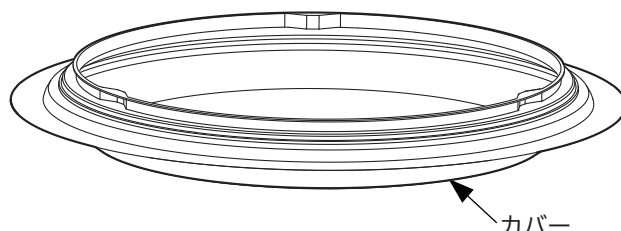
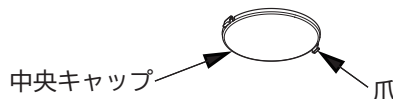
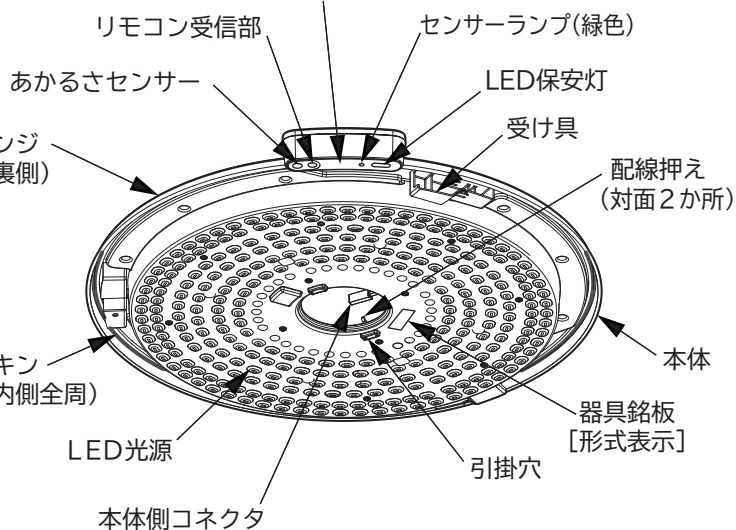
各部の名前・付属品

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。 ※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

角形引掛シーリングボディ
などの配線器具は付属して
おりません。



[形式表示]



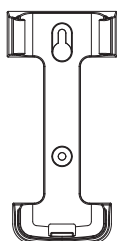
- 本体裏側のスポンジやパッキンをはがさない。

必ず守る ※器具のガタつきや回転防止、防虫のためです。

付属品 (リモコン部品)



リモコン



リモコンホルダー



単3形
アルカリ乾電池
1.5V×2本



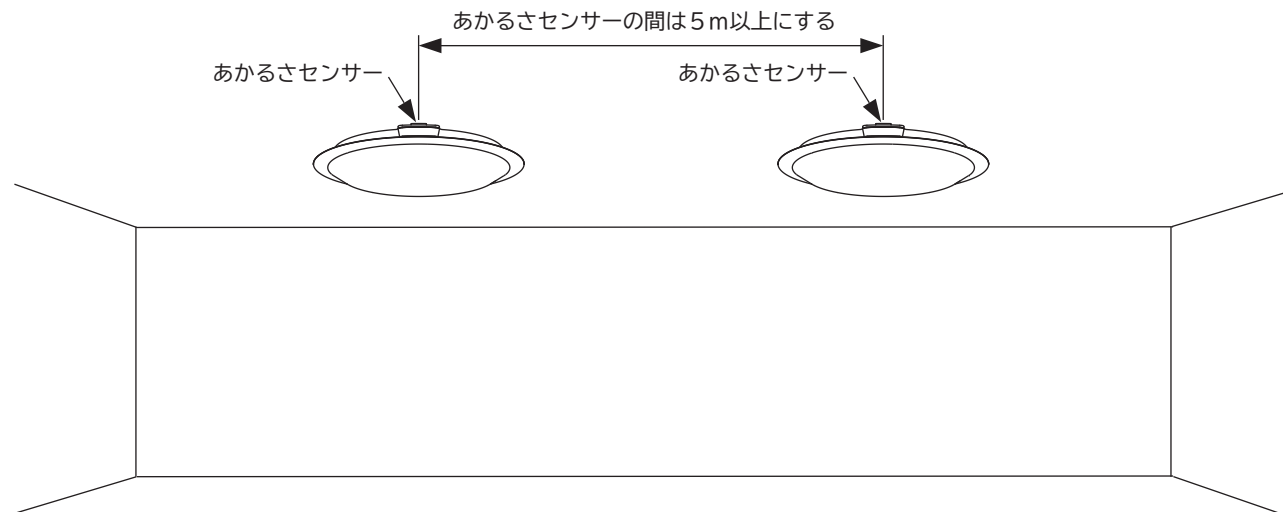
木ねじ(2本)

器具の取り付けかた

取り付けの前に

- あかるさセンサー付き器具を複数設置する場合は、それぞれの、あかるさセンサーの間を5m以上離して設置してください。

※5mより近くで設置した場合は、お互いの照明の明るさを検知して、誤動作の原因となります。



- 天井にこのような配線部品がついている場合は、器具が取り付けられます。



角形引掛
シーリングボディ



丸形引掛
シーリングボディ



埋込形引掛
シーリングローゼット



必ず守る

- 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。

※工事には資格が必要です。

アダプタの取り付けかた

- 1 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ってください。
※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

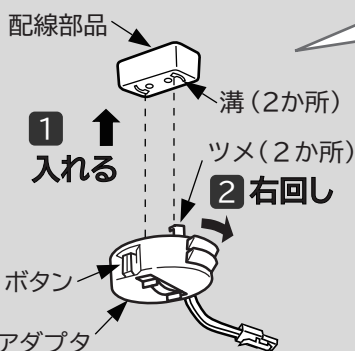


必ず守る

- 器具の取り付けの際は、電源を切る。

※電源を切らないと、感電の原因となります。

- 2 配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れてください。また、必ず同梱しているアダプタを使用してください。



- 3 右方向にいっぱいまで回してください。ロックが掛かり固定されます。

アダプタの取り外しかた

- ボタンを押しながら、左方向へ回してください。

- 1 押す (Push)
- 2 左回し (Turn left)
- 3 外す (Remove)



必ず守る

- 取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、外れないことを確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

本体およびカバーの取り付けかた

4 あかるさセンサーを固定している、オレンジ色の保護テープをはがしてください。

5 ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

6 アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げてください。

本体がガタつく場合はさらに押し上げてください（爪は上下2段あります）。

7 ハンドルを「ロック」の位置にずらしてください。

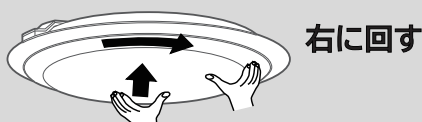
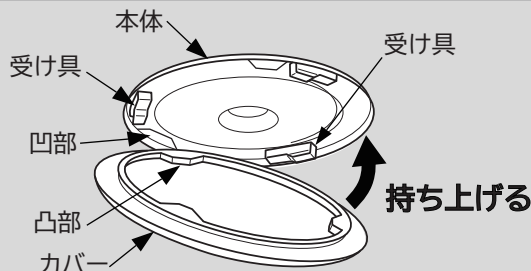
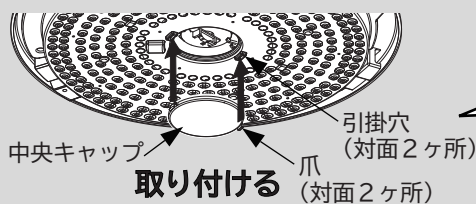
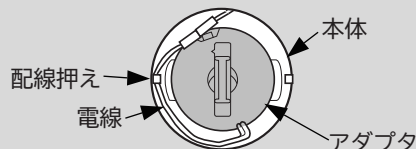
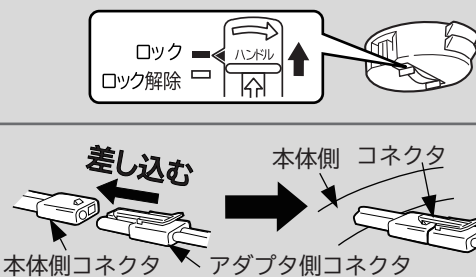
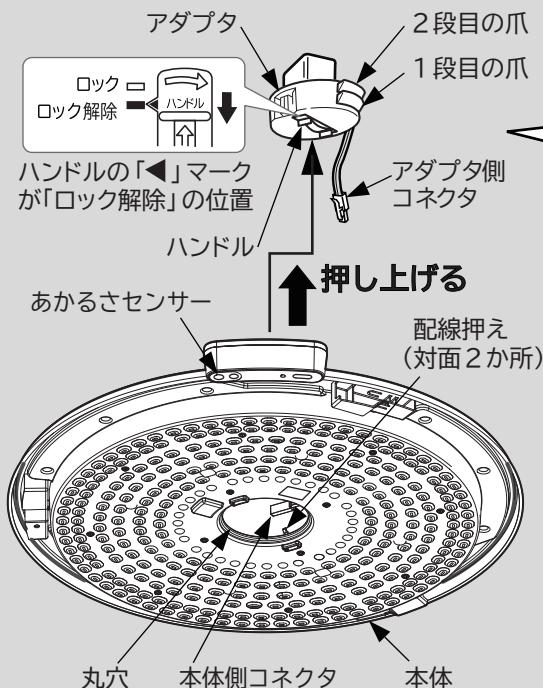
8 アダプタ側コネクタと本体側コネクタとを確実に差し込んでください。

9 アダプタ側の電線を、配線押えに引っ掛けてください。

10 中央キャップの爪を、引掛穴に引っ掛けて確実に取り付けてください。

11 本体の受け具横の凹部にカバーの凸部を合わせ、本体内側にカバーをあてて、カバーを持ち上げて本体にかぶせてください。

12 カバーを押し上げながら、「カチン」と音がして止まるまで右に回してください。

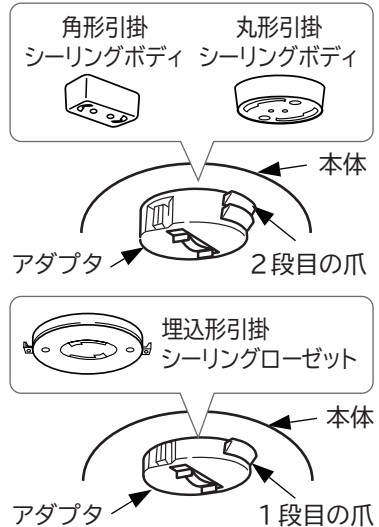


●本体裏側のスポンジやパッキンをはがさない。
※器具のガタつきや回転防止、防虫のためです。



●天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、下の図を参照し、適切な爪（両側2か所）が本体に掛かっていることを確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



●コネクタや電線を無理に引っぱらない。
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。



●中央キャップは必ず取り付ける
※過熱時の延焼防止のためです。



●カバーを正しく取り付け後は、カバーを無理に回さない。
※器具の破損、落下によるけがの原因になります。



●取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、外れないことを確認する。
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

使いかた

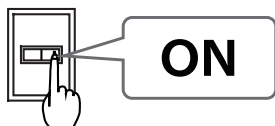
リモコンの操作

■ 特 長

- ・あかりセレクトボタンで4つのあかりが選べます。→P.8「あかりセレクトボタンの使いかた」をご参照ください。
- ・**ECO**これっきり ボタンでお部屋の明るさを自動調光。→P.9「**ECO**これっきりボタンの使いかた」をご参照ください。
- ・節電モードボタンで適用畳数の範囲で明るさ調整可能。→P.8「節電モードボタンの使いかた」をご参照ください。
- ・留守番ボタンで自動点灯・消灯し、在宅を装えます。→P.11「留守番タイマーの使いかた」をご参照ください。

リモコンご使用上の注意

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



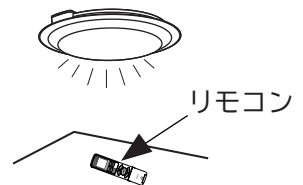
壁スイッチはONにする

- リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。



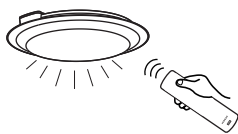
器具に向けて操作

- “タイマー予約”で使用する場合は、リモコンを器具の真下付近に置いて、ご使用ください。また、リモコンを置く場所から器具が動作するか確認してください。



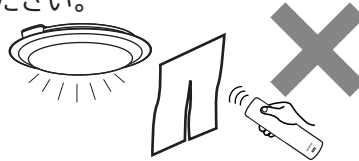
器具の真下付近に置く

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが動作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



器具に近づけて操作

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると器具が動作しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。



しゃへい物を避けて操作

- 器具とリモコンのチャンネルを合わせ、切替ボタンを押して操作してください。→P.12「チャンネルの設定」をご参照ください。



チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気が多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。
- 乾電池の残量が少なくなってくると表示画面が点滅を始めますので、乾電池を交換してください。また、表示画面が消えてから乾電池を交換した場合、時刻表示および予約内容は工場出荷時の状態に戻りますので、設定し直してください。

乾電池の入れかた・交換のしかた

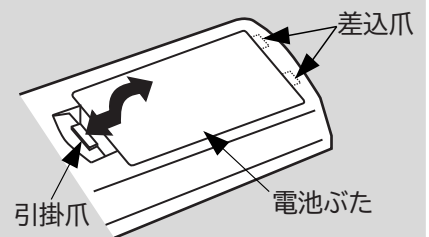
- 1 リモコン裏面の電池ぶたの引掛爪を外して、電池ぶたを取り外してください。
- 2 付属の単3形アルカリ乾電池を ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れてください。表示画面の時刻が点滅した場合は →P.8「時計の合わせかた」をご参照ください。
- 3 電池ぶたの差込爪をリモコンに差し込み、引掛爪を「パチン」と音がするまでリモコンに入れて取り付けてください。



必ず守る

- 必ずアルカリ乾電池を使用する。

※アルカリ乾電池以外は、正常に動作しない場合があります。

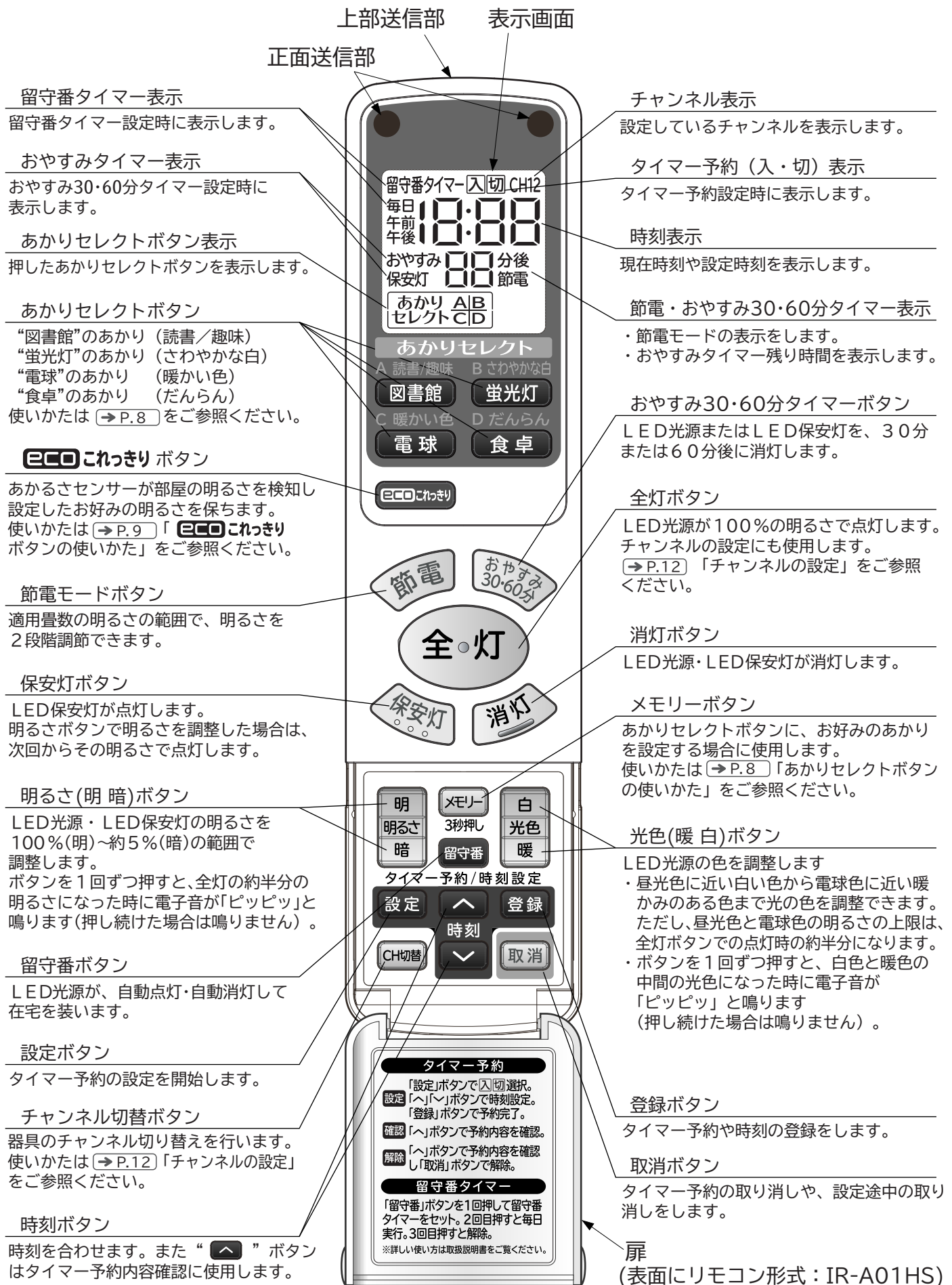


乾電池について

- 乾電池を誤って使うと液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
- ・電池のアルカリ液が目、皮膚に付着したときは失明やけがのおそれがあるので、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けること。
- ・発熱、液もれ、破裂、機器破損のおそれがあるので、⊕⊖ 逆接続、ショート、分解、新旧・銘柄・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしない。
- 液漏れによる故障の原因となるので、長時間使用しない場合は乾電池を取り外しておく。
- リモコンのアルカリ乾電池は、1日10回の使用で約半年使えます。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。

各部の名前と各ボタンの使いかた

操作ボタンを押すとリモコン送信部からの信号が本体に入り、本体から電子音が「ピッ」と鳴り受信をお知らせします。操作ボタンを押しても点灯状態が変わらない時は、電子音が「ピッピッ」と鳴ります。



時計の合わせかた

乾電池を入れた時

※設定を途中でやめたい時は **取消** ボタンを押してください。また、1 分間操作がない場合は時刻設定を終了します。この時、設定途中の時刻は登録されません。

- 表示画面が消えている時に乾電池を入れると時刻表示が点滅し、時刻設定に入ります。
- 時刻** ボタンで現在時刻を設定してください。
・ボタンを1回押す毎に1分刻みで時刻が変わります。
・ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。
- 登録** ボタンを押してください。
”：” だけが点滅し、設定が完了します。



時刻を合わせなおす時

※設定を途中でやめたい時は **取消** ボタンを押してください。また、1 分間操作がない場合は時刻設定を終了します。この時、設定途中の時刻は登録されません。

- 時刻表示が点滅するまで、**登録** ボタンを約3秒以上、長押ししてください。
- 時刻** ボタンで現在時刻を設定してください。
・ボタンを1回押す毎に1分刻みで時刻が変わります。
・ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。
- 登録** ボタンを押してください。
”：” だけが点滅し、設定が完了します。



あかりセレクトボタンの使いかた

※リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。

- “図書館” のあかり（読書／趣味）、“蛍光灯” のあかり（さわやかな白）、“電球” のあかり（暖かい色）、“食卓” のあかり（だんらん）、が選べます。

- ・あかりセレクトボタンを押すと表示画面に押したモードを A、B、C、D で表示します。

- あかりセレクトボタンに、お好みのあかりを記憶できます。

- ①記憶したいあかりセレクトボタンを押します。

- ② **白**、**明**、**光色**、**明るさ** ボタンで、お好みのあかりにします。

- ③ **メモリー** ボタンを約3秒長押しします。

- ④器具から「ピッ」と音がして記憶します。

- あかりセレクトボタンのあかりを、元へ戻す場合。

- ①元に戻したいボタンを約3秒長押しします。
- ②器具から「ピピッ」と音がして、工場出荷時の状態に戻ります。

あかりセレクト表示

メモリーボタン

光色ボタン

明るさボタン

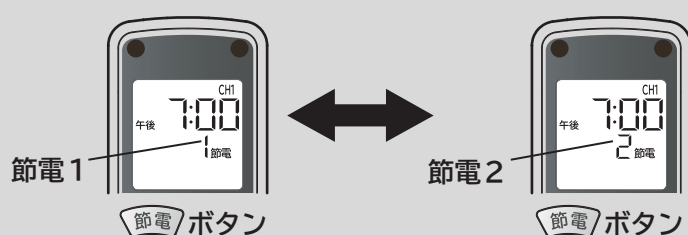


節電モードボタンの使いかた

※リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。

節電モードは、適用畳数（一般社団法人日本照明器具工業会の定める「住宅用カタログにおける適用畳数表示基準」（ガイド121：2011）による。）の明るさの範囲で、明るさを2段階で調節して節電します。

- 節電** ボタンを押してください。
押す毎に“節電1”“節電2”と表示画面が切り替わります。
・節電1（全灯より約6W節電）
全灯から1段階明るさが落ちます。
・節電2（全灯より約12W節電）
節電1からさらに1段階明るさが落ちます。



2 解除のしかた

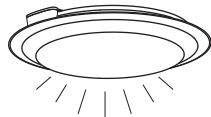
全灯、消灯、保安灯、明るさ、光色、あかりセレクトのいずれかのボタンを押すと解除されます。

ECOこれっきり ボタンの使いかた

※リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。

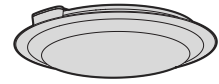
ECOこれっきり機能を使うと、あかるさセンサーが部屋の明るさを検知して設定したお好みの明るさを保つことができます。

- 明るさの変化が気にならないように、変わり始めるまで5分程かかるようにしています。



変わり始めるまで”5分程”

- 周囲の明るさが、設定した明るさよりも明るい場合は消灯します。



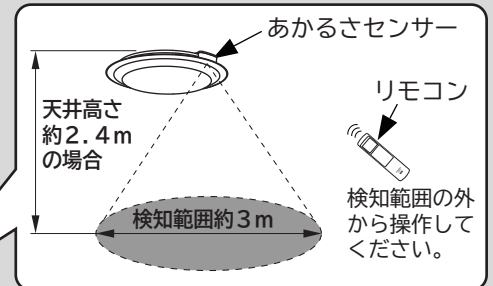
”消灯”



- ・初めてご使用になるときは、工場出荷時の設定(ほぼ中間の明るさ)になっています。お部屋に取り付けた後に、お好みの明るさに設定してお使いください。そのままご使用になると、工場出荷時の設定で動作します。
- ・**ECOこれっきり**動作中は、センサーランプ(緑色)が点灯し、動作していることをお知らせします。
- ・一度設定すると、次から**ECOこれっきり**ボタンを押せば、設定した明るさになるようにお部屋の明るさを検知して自動で調光します。

1 設定の前に

- ・1時間ほど全灯で点灯させてから設定してください。
- 設定は外光が入らない夜間などに行ってください。※1
- 設定操作は、あかるさセンサーの検知範囲の外から行ってください。
- 常時点灯させている照明以外は、明かりを消してください。



※1 日中の明るい状態で設定すると、その時の明るさを保とうとして、常に全灯状態となる可能性があります。

2 設定のしかた ※設定を変えたい時は下記の手順で設定し直してください。

- ① リモコンの明るさボタンでお好みの明るさに調整してください。
- ② 検知範囲の外から **ECOこれっきり** ボタンを長押ししてください。
- ③ 器具から「ピッ」と電子音がして あかるさセンサーのセンサーランプ(緑色)が点灯し、約3秒後「ピーッ」と電子音がして設定開始をお知らせします。ボタンから指を離してください。
- ④ 約5秒後「ピッ、ピッ、ピッ、ピーッ」の電子音がしてセンサーランプが点滅します。電子音と点滅が止まると設定完了です。

3 解除のしかた

リモコンや壁スイッチで点灯状態の切り替えをすると **ECOこれっきり** を解除できます。

ECOこれっきり 機能 ご使用上の注意

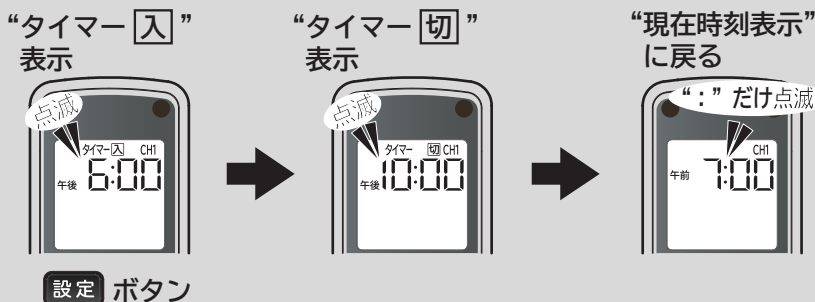
- 下記の場合には設定した明るさにならないことがありますのでご注意ください。
- ・部屋の内装(床面・壁面)やテーブルなどの色が濃い場合に、器具の下に白い物や反射物、新聞紙や雑誌などを広範囲に置いたり広げたりすると、暗くなることがあります。
- ・部屋の内装(床面・壁面)やテーブルなどの色が比較的白い場合に、器具の下に色の濃い物などを広範囲に置いたり広げたりすると、明るくなることがあります。
- ・明るい色の衣服で検知範囲内に居る場合、暗くなることがあります。
- ・検知範囲の近くで照明を点灯させた場合、暗くなることがあります。
- 下記の場合には、明るさの設定をし直してください。
- ・部屋の内装(床面・壁面)やじゅうたん、カーテンなどの模様替えをした場合。
- ・テーブル、ソファなどの家具の配置を変えた場合。
- 周囲の明るさが急に変わった場合には、設定した明るさになるまでに時間がかかる場合があります。
- ECOこれっきり** 動作中は、明るさが段階的に変わりますが異常ではありません。

タイマー予約のしかた（留守番タイマーとは別の時刻設定ができます。）

「点灯」、「消灯」、「点灯および消灯」のタイマー予約ができます。工場出荷時は、点灯「午後6:00」、消灯「午後10:00」に設定されています。タイマー予約の表示をしていれば毎日実行します。
「点灯」は光色ボタンの白のみでの上限の明るさで点灯します。→ P.6 「リモコンご使用上の注意」もご参照ください。

※設定を途中でやめたい時は **[取消]** ボタンを押してください。また、10秒間操作がない場合は時刻設定を終了します。
この時、設定途中の時刻は登録されません。

- 1 “留守番タイマー”が表示されていない事を確認し、現在時刻画面で **[設定]** ボタンを押してください。押す毎に、
“タイマー **[入]**（点灯）”
“タイマー **[切]**（消灯）”
“現在時刻画面”に戻る、と表示画面が切り替わります。
設定したい表示にしてください。



- 2 時刻の設定（①でタイマー**[入]**にした場合）



ボタンで時刻を設定してください。

“時刻” 設定

- ・ ボタンを1回押す毎に1分刻みで時刻が変わります。
- ・ ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。



- 3 登録（①でタイマー**[入]**にした場合）

- ・ 時刻を合わせたら登録ボタンを押すと予約されます。
- ・ 時刻の点減が止まり、タイマー予約の設定画面が終了し、現在時刻表示画面に戻ります。
- ・ 予約中は“タイマー **[入]**”が表示されます。

“時刻” 設定



“現在時刻表示” に戻る



登録 ボタン

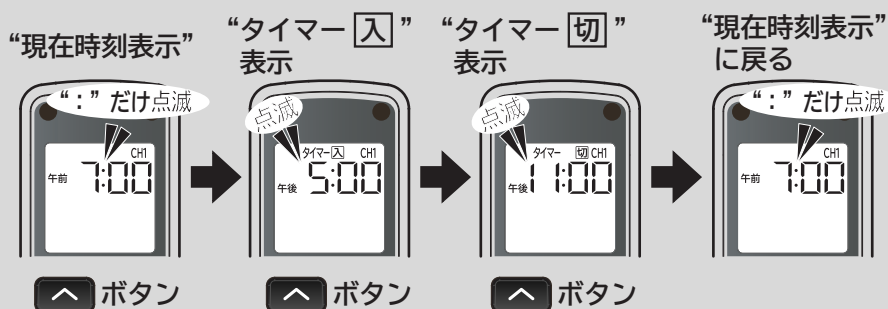
- 4 時刻の変更 ※タイマー **[切]** や、タイマー予約時刻の変更をする場合は、上記の手順で設定してください。

タイマー予約の内容確認および取り消しのしかた

※10秒間操作がない場合は現在時刻表示に戻ります。

- 1 タイマー予約の内容確認

現在時刻表示で **[上]** ボタンを押す毎に表示画面が切り替わり、予約内容が確認できます。



- 2 タイマー予約の取り消し

現在時刻表示で **[上]** ボタンを押して、取り消したいタイマー予約を表示してください。

[取消] ボタンを押すとそのモードが解除されます。

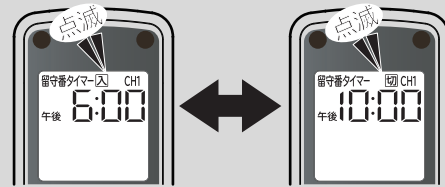


留守番タイマーの使いかた（タイマー予約とは別の時刻設定ができます。）

留守番ボタンで在宅を装うなど自動点灯・自動消灯します。工場出荷時は、点灯「午後6:00」、消灯「午後10:00」に設定しています。また、点灯は白色のみの上限の明るさ（全灯の約半分）で点灯します。

- 1 現在時刻画面で **留守番** ボタンを1回押してください。
 “留守番タイマー **入**”
 “留守番タイマー **切**”
 が交互に2回ずつ表示されて約8秒後に現在時刻画面に戻り
 “留守番タイマー”が表示されて設定を完了します。
 留守番タイマーを1回実行します。

留守番タイマー入 切 時刻を交互に表示



留守番 ボタン

現在時刻表示に戻り
設定完了



2 毎日実行と解除のしかた

- “留守番タイマー”を毎日実行したい場合は **留守番** ボタンを再び押してください。
 “毎日”が表示され毎日実行します。
- 解除したい場合は、再び **留守番** ボタンを押してください。
 “留守番タイマー”表示が画面から消えて解除されます。

現在時刻表示



留守番 ボタン

“毎日”表示



留守番 ボタン

表示無し



3 留守番タイマーの時刻変更

表示画面に“留守番タイマー”の表示をしている状態で、タイマー予約と同様に設定し直してください。

※設定を途中でやめたい時は **取消** ボタンを押してください。また、1分間操作がない場合は時刻設定を終了します。
 この時、設定途中の時刻は登録されません。

おやすみ30・60分タイマーの使いかた

おやすみ30・60分タイマーで、30分後または60分後にLED保安灯へ自動点灯 または 自動消灯します。設定後は、LED保安灯または消灯するまでの残り時間も表示します。

- 1 リモコンを器具に向け **おやすみ 30・60分** ボタンを押して、本体から「ピッ」と電子音が鳴るのを確認してください。
おやすみ 30・60分 ボタンを3秒以内に押す毎に右図のように設定を選択できます。
 設定したい表示にしてください。

30分後に
自動消灯



おやすみ 30・60分 ボタン

60分後に
自動消灯



おやすみ 30・60分 ボタン

30分後に
LED保安灯へ
自動点灯



おやすみ 30・60分 ボタン

60分後に
LED保安灯へ
自動点灯



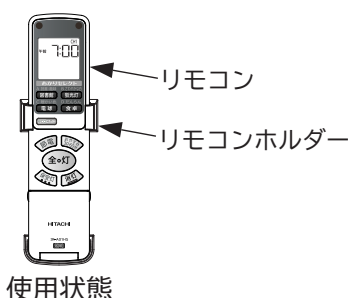
おやすみ 30・60分 ボタン

2 解除のしかた

設定後、3秒以上たってからリモコンを器具に向けて、再び **おやすみ 30・60分** ボタンを押してください。本体から「ピピッ」と電子音が鳴って、表示画面から表示が消えて解除されます。**保安灯** または **消灯** ボタンでも解除されます。

リモコンホルダーの使いかた

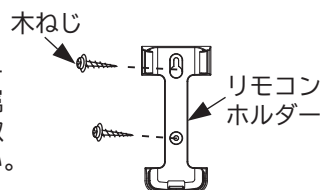
リモコンを無くさないように、置き場所として壁などにリモコンホルダーを取り付けてご使用ください。



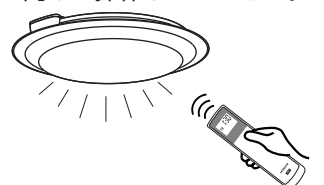
使用状態

取り付けかた

- リモコンホルダーの位置を決め付属の木ねじ2本で取り付けてください。



- リモコンは、リモコンホルダーから取り出し、器具に向けて操作してください。



チャンネルの設定

※リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。
部屋でご使用になる照明器具の台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

1 台のリモコンで1 台の器具を操作する場合

リモコンをチャンネル1に合わせて操作します。

表示画面の
チャンネル表示が
”CH1”

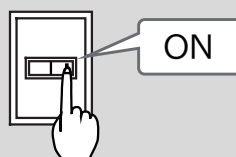


※出荷時は、チャンネル1 に設定しています。
リモコンの表示画面が “CH1” になっている
ことを確認のうえ、器具にリモコンを向けて
操作してください。

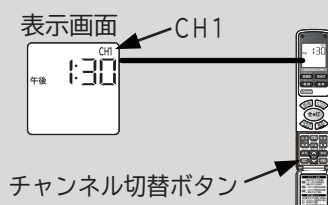
1 台のリモコンで2 台の器具を操作する場合

器具のチャンネル設定をします。

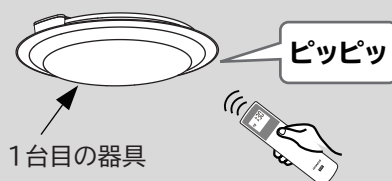
1 壁スイッチは ON にしてください。



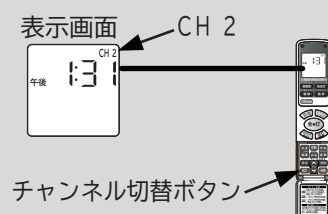
2 リモコンのチャンネル切替ボタン
を押して、表示画面のチャンネル
表示を”CH1” にしてください。



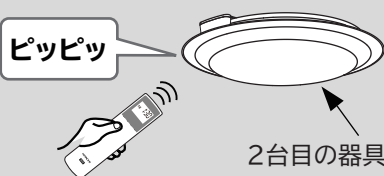
3 1 台目の器具にリモコンを向け、
全灯ボタンを約3秒間、長押し
してください。
器具から電子音が「ピッピッ」と2回
鳴り、設定の完了をお知らせします。



4 リモコンのチャンネル切替ボタン
を押して、表示画面のチャンネル
表示を”CH2” にしてください。



5 2 台目の器具にリモコンを向け、
全灯ボタンを約3秒間、長押し
してください。
器具から電子音が「ピッピッ」と2回
鳴り、設定の完了をお知らせします。



ご注意

- リモコンは、他の日立
リモコン照明器具に対
しても操作できますが、
チャンネルの設定のし
かたは、その商品の取
扱説明書をご参照く
ださい。
また、機種によっては
リモコンで操作できる
機能が制限される場合
があります。

●チャンネル設定が完了したら、リモコンを各々の器具に向けて操作してください。

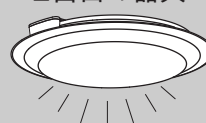
1 台目の器具



チャンネル切替ボタンを
押して、チャンネル表示
を”CH2”にして操作し
ます。



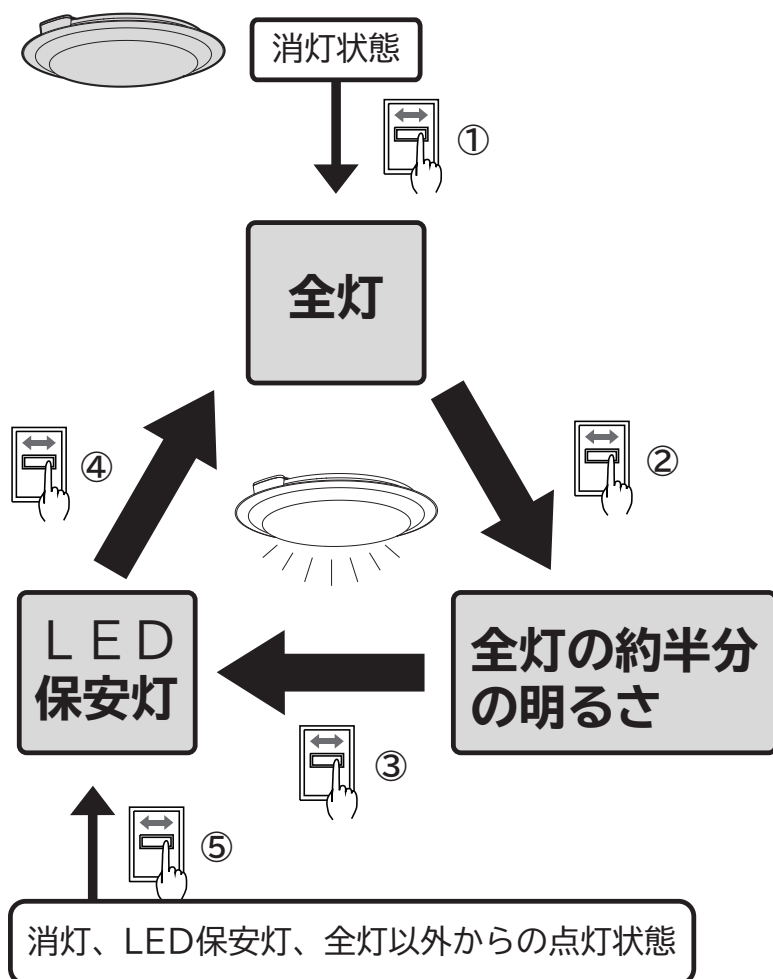
2 台目の器具



壁スイッチの操作

点灯状態を切り替える

壁スイッチがONの状態、1秒を目安に“OFF→ON”することで器具の点灯状態を切り替えることができます。ただし、1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。



切り替え操作のしかた



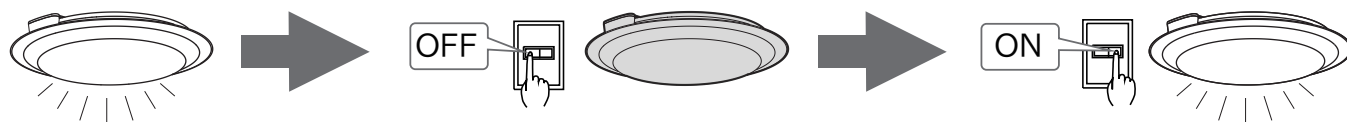
壁スイッチがONの状態、1秒を目安に“OFF→ON”と壁スイッチを操作してください。

※0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯状態の切り替えはできません。

- ① 消灯から切り替えると、全灯に切り替わります。
- ② 全灯から切り替えると、全灯の約半分の明るさに切り替わります。
- ③ 全灯の約半分の明るさから切り替えると、LED保安灯に切り替わります。
- ④ LED保安灯から切り替えると、全灯に切り替わります。
- ⑤ 消灯、LED保安灯、全灯以外からの点灯状態から切り替えると、LED保安灯に切り替わります。

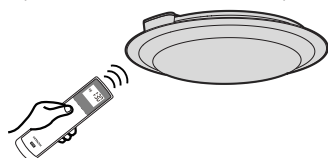
点灯・消灯

壁スイッチをOFFにして外出し、帰宅後、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前の点灯状態になります。

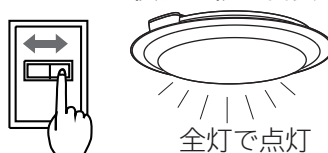


壁スイッチの便利な使いかた

リモコンで消灯して外出。
(壁スイッチはONのまま)



帰宅後に壁スイッチをOFFにした後、1秒を目安にON。

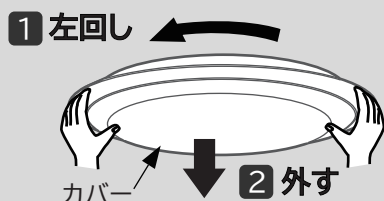


器具の取り外しかた

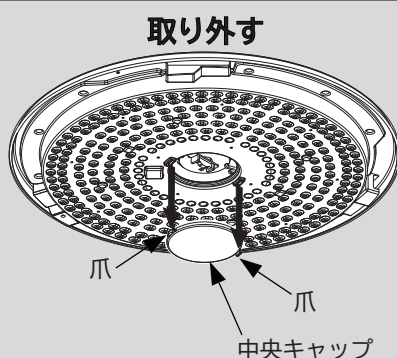
カバーおよび本体の取り外しかた

- 1** 電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ってください。
※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

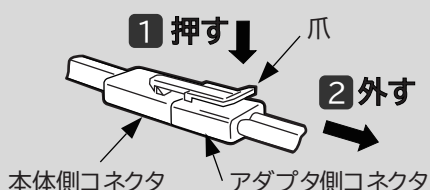
- 2** カバーを左に回して取り外してください。



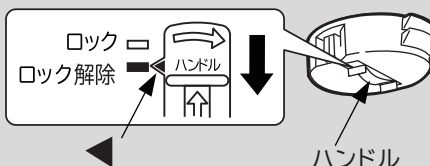
- 3** 中央キャップの両側の爪を持って取り外してください。



- 4** コネクタを外してください。
アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。



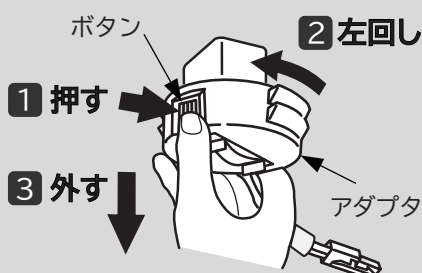
- 5** ハンドルの◀を「ロック解除」の位置にずらしてください。



- 6** 本体中央部を、しっかり支えながら、アダプタのハンドルを右に回して本体を外してください。



- 7** アダプタを外してください。
ボタンを押しながら左方向に回してください。



●器具の取り付けかたは
→ P. 4～5 をご参照ください。



●器具の取り外しの際は、電源を切る。

必ず守る

※電源を切らないと、感電の原因となります。



接触禁止

●消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する。

※やけどの原因となります。



禁止

●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っばったりしない。

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。



必ず守る

●本体が落下しないように、確実に本体を支えながら作業する。

※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。



禁止

●アダプタを無理に回さない。

※引掛シーリングボディなどの破損の原因となります。

お困りのときは

●もしこんな現象が起きたときは・・・

故障と思われる前に下の表にしたがってお調べください。

このようなときは	考えられる要因	対応	ページ
ECOこれっきりが動作しない。	●明るさが変わるまで時間がかかっている。	●明るさが変化するまで、5分程度かかります。	9
消灯した。	●ECOこれっきりが動作している。	●周囲の明るさが設定した明るさよりも明るい場合は消灯します。	9
明るさが変わった。	●短い停電があった。	●短い停電で、壁スイッチの操作のように“点灯状態を切り替える”機能が働く場合があります。	13
リモコンを操作しても点灯しない。	●壁スイッチが OFF になっている。	●壁スイッチを ON にしてください。	6
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
	●リモコンの乾電池が間違っている。	●乾電池を正しく入れてください。	6
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	6
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	12
タイマー予約が動作しない。	●リモコンを、器具が動作する範囲内に置いていない。	●リモコンを器具の真下付近に置き、置いた場所から動作するか確認してください。	6
壁スイッチを操作しても点灯しない。	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
点灯状態が次々と切り替わる。	●デモ状態に入っている。	●リモコンで消灯ボタンを、電子音が鳴るまで約10秒間長押ししてください。	—
リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	●ON・OFF 状態がわかる壁スイッチの場合	●壁スイッチを一度 OFF にし、約1秒後に再度 ON にしてください。	
	●ON・OFF 状態がわからない壁スイッチの場合（押しボタン式で押すたびに ON と OFF が切り替わり、今の状態が ON なのか OFF なのかわからないタイプ）	●壁スイッチを約 1 秒間隔で 2 回押してください。 ●もし上記の操作で点灯しないときは、上記の操作後 2 秒以上待ってから、壁スイッチを約 1 秒間隔で 3 回押してください。	

（上記の表にしたがって調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。）

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式(本体の器具銘板、リモコン受信部付近に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

仕様 形式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	LED保安灯 点灯時消費電力	消灯時 待機電力
LEC-AHS1410A (～14畳)	交流 100V	50/60Hz 共用	71W	0.5～1.0W (調光状態による)	0.4W
LEC-AHS1210A (～12畳)			64W		
LEC-AHS1010A (～10畳)			57W		
LEC-AHS810A (～ 8 畳)			50W		

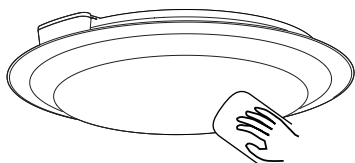
●この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。長時間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、節電を心がけてください。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

器具のお手入れ

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。
- 汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)



必ず守る

- お手入れの際は、電源を切る。

※電源を切らないと、感電の原因となります。



禁止

- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない。

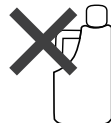
※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



みがき粉



ベンジン



合成洗剤



化学ぞうきん



殺虫剤

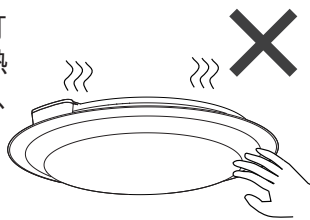
器具取り扱い上のご注意



接触禁止

- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので、触らない。

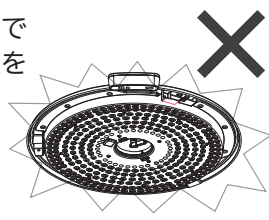
※やけどの原因となります。



禁止

- カバーを外した状態で点灯したLED光源を直視しない。

※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



保証とアフターサービス

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明の点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) (月～土曜日) 9:00～19:00、(日曜日/祝日) 9:00～17:30

携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土) 9:00～17:00 (日・祝日)

年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証期間中は……修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは……修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

保証期間……お買い上げ日から1年です。(保証期間・内容は保証書をご覧ください。)

- 「持込修理」及び「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートはがきを送付させていただくことがあります。